

お手入れについて

市販のワイヤーロープ用グリースを、月1回を目安にワイヤー全体に満遍なく塗布してください。
このとき、ワイヤー以外の部分にグリースが付着しない様に注意してください。

ワイヤーの交換

ワイヤーは消耗品です。ワイヤーにヨレやホツレが確認できた場合ただちに使用を中止し、販売店または営業担当者に連絡して頂き、ワイヤーを交換してください。

故障と思う前に

(1) 故障の内容と対策

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次のことを確認してください。

(2) 故障の場合

修理が必要な場合は、販売店までご連絡ください。

故障の内容	原因	処置
ボタンが 作動しない	電源が接続されていない。 (ブレーカーがOFFになっている)	電源線が確実に接続されているか確認してください。 接続されている場合、ブレーカーがONになっているか確認してください。
	有線スイッチが接続されていない。	接続ケーブルが確実に接続されていることを確認してください。
	モーター内部の熱感知装置が働いている。	しばらくすると自動的に復帰します。
停止ボタンを押すと ボタンが動く	中間停止が設定されている	中間停止の解除方法で解除してください。 (方法) 任意の位置でSTOPボタンを押すとボタンが動きます。 止まった位置でSTOPボタンを5秒間押し続けるとボタンが 小さく上下に動き、中間停止機能が解除されます。

廃棄

この製品を廃棄するときは専門業者にご依頼ください。また、廃棄業者にこの「取扱説明書」もご提示ください。

■主要部品の材質

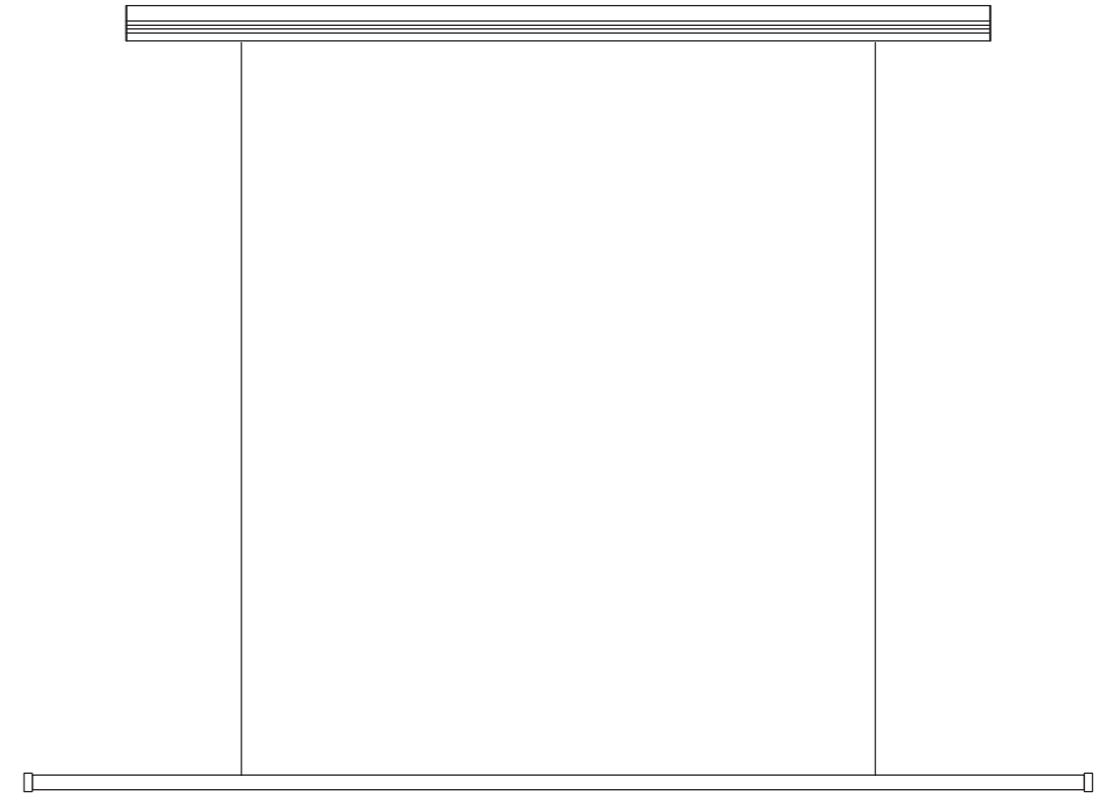
・ボタン本体ケース	アルミ
・ベース金具 ・スライド金具	鉄
・ボタン棒 ・ワイヤー	ステンレス

取扱説明書について

この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店までご連絡いただき、内容を確認の上、ご請求ください。
この製品を譲渡される場合は、必ず次の所有者にこの説明書を添付して譲渡してください。

取扱説明書


電動昇降ボタンケースタイプ (ボタン棒 Φ38)





この度はお買い上げいただきありがとうございます。






安全に使用していただく図記号の説明

ご使用になる前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。



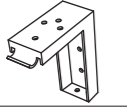

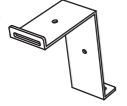



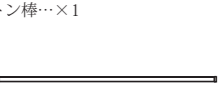

 記号は禁止事項を表しています。

 記号は行為を指示することを表しています。

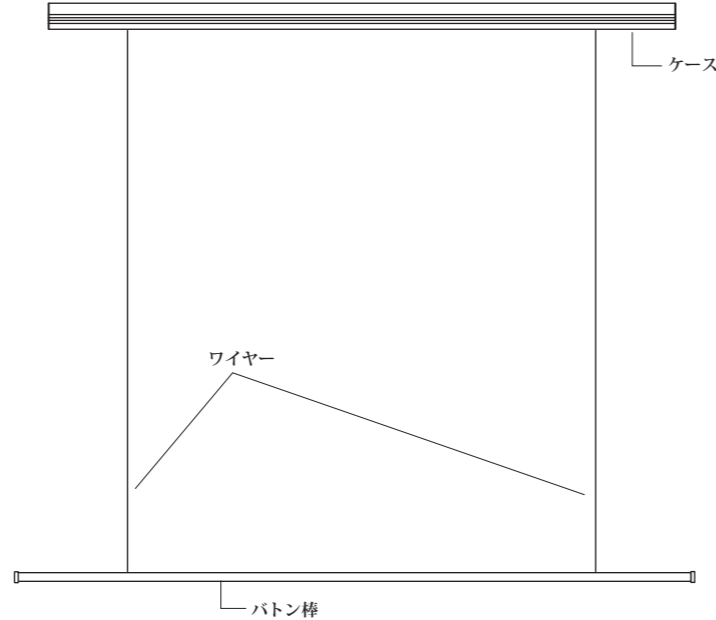
 警告		1. ボタンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。 2. 取り付け場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。 3. ベース金具フック部に確実に掛かっていることを確認してください。落下の危険があります。 4. すべての取り付けが完了後、電源線を接続してください。 電源線を接続した状態で作業しないでください。感電の危険があります。
		1. 部品、製品を分解しないでください。落下・感電の危険があります。 2. ボタン棒にぶらさがったり、表示されている最大重量を超える物をボタン棒に掛けないでください。 また、無理な力を加えないでください。本体、ボタン棒が落下する危険があります。
 注意		1. ボタン棒を昇降させる際には、周囲を確認してから操作してください。 ボタン棒が人や物に接触する可能性があり危険です。 2. 使用時以外は必ずワイヤーを全て巻き取ってください。 ワイヤーに触れるとケガをする恐れがあります。

バトンの取り付けを行う方へ

(1) 付属品の種類・数量の確認

 バトンケース本体...×1	 ナベビス P=3...×6 (M4×10mm)
 ベース金具...×3	 ナベビス P=3...×3 (M5×12mm)
 スライド金具...×3	 トラストッピングビス...×6 (4×30mm)
 六角ナット...×6 (M4)	 壁埋め込み型スイッチ...×1
 バトン棒...×1	 ワイヤークリップ...×2 (イモネジ付)

(2) 製品各部の名称



警告 バトンの取り付け作業は必ず2名以上で行ってください。

バトンの取り付け方法

(1) ベース金具の取り付け

ベース金具の取り付け穴を利用し、天井または壁面にトラストッピングビス(4×30mm)を2個使用し、しっかりと固定します。ベース金具及びスライド金具は必ず付属されている数量を全て使用し、平行に取り付けてください。

警告 取り付ける場所の強度を十分に確認し、しっかりと固定してください。落下の危険があります。

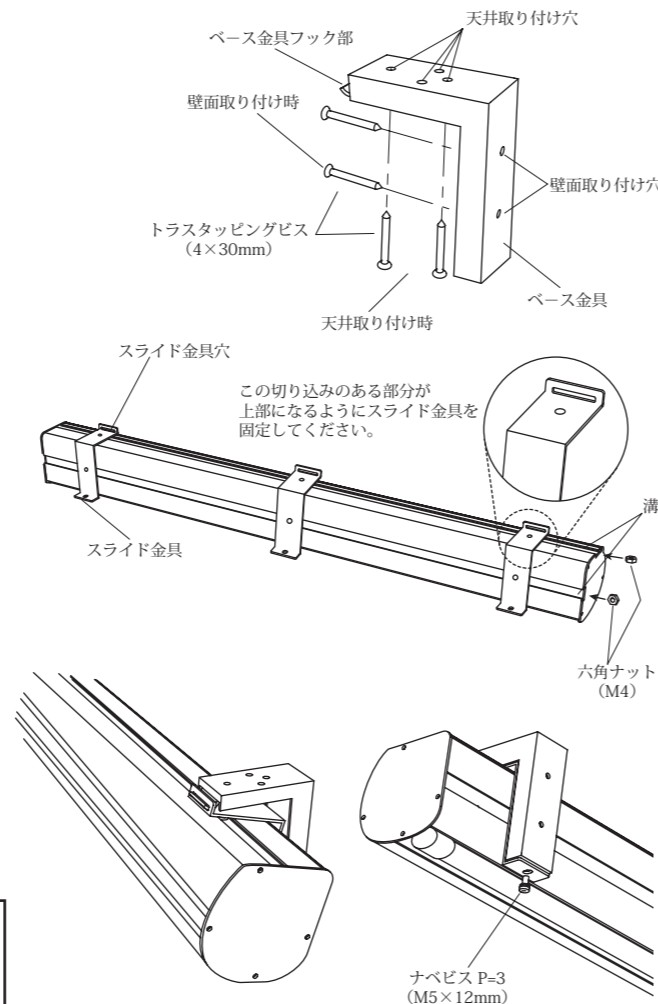
(2) スライド金具の取り付け

バトンケース本体の上部と後部の溝に、六角ナット(M4)を付属のスライド金具と同数入れておきます。前記(1)で取り付けたベース金具の間隔に合わせて、スライド金具をナベビスP=3(M4×10mm)を使って、六角ナット(M4)にしっかりと固定します。

(3) バトンケースの取り付け

ベース金具フック部にスライド金具穴を確実に引っ掛けてください。次にスライド金具の下穴をベース金具のビス穴に合わせ、ナベビスP=3(M5×12mm)でしっかりと固定します。

警告 1. ベース金具フック部がスライド金具穴に確実に掛かっていることを確認してください。落下の危険があります。
2. ナベビスP=3(M5×12mm)がしっかりと固定されていることを確認してください。落下の危険があります。

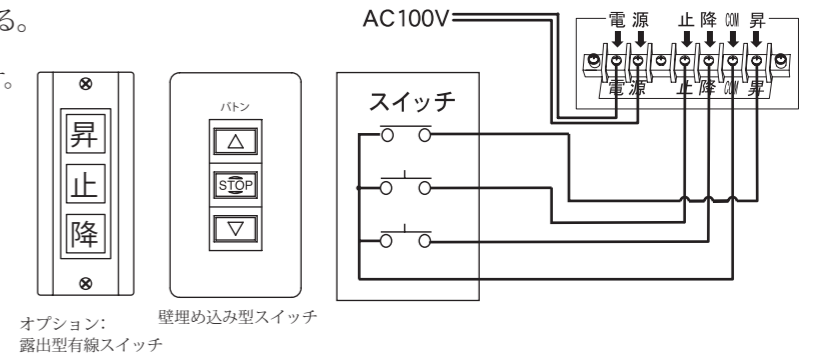


結線方法

端子台目隠しカバーを外し、電源線・操作線を結線する。
※必ず電源を切って作業してください。
※電源線はφ1.6×2C(入力AC100V)で、配管配線工事は別途です。
※操作線は0.75sq×4C(VCTF相当)で、配管配線工事は別途です。

スイッチを結線して、所定の場所に取り付ける。
※スイッチは埋め込み型で、埋め込みボックスは別途です。

最後に結線が正しく行われているか(他の線と触れていないか等)を確認し、カバーを取り付けて電源を入れる。



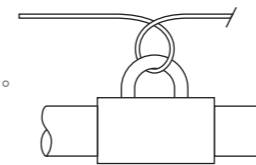
バトン棒を取り付ける

スイッチの「▼」ボタンを押しワイヤーを出します。(必ずワイヤーにテンションをかけながら出してください。)
バトン棒を取り付けるのに必要な長さが出たら「STOP」ボタンを押し、停止させます。(リミッターが作動して必要分でないときは、後述の「バトン棒停止リミッター調整方法」を参照の上、必要な長さのワイヤーを出してください。)必要分出したワイヤーにワイヤークリップを通し、バトン吊金具にワイヤーを結び、ワイヤークリップでしっかりと固定します。(このとき、必ずバトン棒が水平になることを確認してください。)

●参考手順

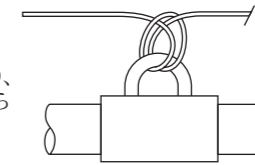
1

バトン吊金具にワイヤーを1巻きする。



2

1巻き目の手前側に先端側で2巻き目を作り、ワイヤー先端を手前から奥側へ抜く。



3

たるみが無い様に両側から引っ張り(先端の長さを調整しつつ)ワイヤークリップでしっかりと止める。



警告 バトン棒を取り付けるとき、ワイヤーが巻き取りドラムの溝から外れていないか、テンションが極端に緩んでいないか確認してください。ワイヤーにキズが入り、破損・落下の原因になります。

バトンの操作方法

(1) バトン棒を使用するとき

スイッチの「▼」ボタンを押してください。バトン棒が設定された位置まで下降し停止します。

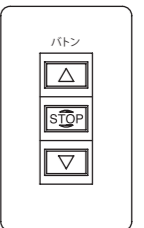
(2) バトン棒を収納するとき

スイッチの「▲」ボタンを押してください。バトン棒が上昇し収納されて停止します。

(3) バトン棒を停止するとき

スイッチの「STOP」ボタンを押してください。バトン棒を任意の位置で停止できます。

警告 表示されている最大重量を超える物をバトン棒に掛けないでください。本体、バトン棒が落下する危険があります。



バトン棒停止リミッター調整方法

バトン棒停止位置の調整は、工場出荷時の設定位置(指定のストローク)よりも上昇させた位置にのみ調整が可能です。工場出荷時より下降させた位置への調整は出来ませんのでご注意ください。
※初期設定の停止位置が推奨使用位置です。

(1) 下限リミット位置までバトン棒を下げます。

(2) 設定モードに入ります。

右図のように△(上昇)と▽(下降)のボタンを同時に7秒間押し続けます。バトン棒が小さく上下に一度だけ動きまると設定モードになりますので、ボタンを押すのを止めてください。

(3) 設定する場所にバトン棒を移動します。

△(上昇)と▽(下降)のボタンを使って、目的の高さにバトン棒を合わせます。

(4) 設定を記憶させます。

バトン棒が目的の場所で止まっているのを確認し、STOPボタンを2秒間押し続けます。バトン棒が小さく上下に一度だけ動きまると設定の記憶が完了しましたので、ボタンを押すのを止めてください。

